

南薩地域振興局庁舎新築基本設計
〔概要版〕

令和 7 年 8 月

鹿児島県

南薩地域振興局新庁舎の概要



1 施設の整備方針

■機能的で働きやすい庁舎【行政事務機能】

職員にとって働きやすい職場環境づくりを推進するために、適正な広さの執務空間を確保するとともに、組織内の連携や業務効率化が図れる庁舎を整備します。また、DXの推進等による多様な働き方、今後の行政需要の変化等に柔軟に対応できる庁舎を目指します。

■県民の安心・安全を支える庁舎【防災拠点機能】

大規模災害等において、来庁者や職員の安全を確保するとともに、現地災害対策本部の設置等、必要な庁舎の機能を継続的に維持しつつ、速やかな災害対応等により、県民の安心・安全を守る防災拠点としての機能を備えた庁舎を目指します。

■人にやさしく、来庁者の利便性に配慮した庁舎【行政サービス機能】

来庁者にとってわかりやすく、行政サービスをスムーズに受けられることができる庁舎を整備します。また、多様な来庁者の利便性やプライバシーに配慮した動線の確保や配置、ユニバーサルデザインへの対応等により、すべての人が安心して快適に利用できる庁舎を目指します。

■南薩地域の発展に寄与する庁舎【情報発信・交流支援】

新庁舎は、南薩地域の中心に位置し、南薩地域の各地域から利用しやすい立地となります。県政や管内自治体等の情報や地域の特産品等の情報を発信することで、南薩地域の発展に寄与する庁舎を整備します。また、管内の県民が気軽に来庁し、交流や活用を図ることができる庁舎を目指します。

■環境に配慮した庁舎【環境負荷低減】

「鹿児島県庁環境保全率先実行計画」に基づき自然採光や自然通風等の省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入の検討、また県産材の活用を図る等、環境に配慮した庁舎を目指します。

2 敷地概要

施設名称	南薩地域振興局新庁舎
所在地	南九州市知覧町西元 5418 番他
敷地面積	24,250 m ²
用途地域	指定なし

3 建物概要

庁 舎	延床面積	約 6,490 m ²
	構造・階数	本館：鉄筋コンクリート造 3 階建て 別館：木造 1 階建て
付属棟	延床面積	約 1,050 m ²
	構造・階数	鉄骨造 2 階建て
その他	駐車場（約 470 台）、駐輪場（約 40 台） 発電機室等	

4 設備概要

BCP （事業継続計画）	・ 停電時電力確保用として 3 日間運転可能な非常用発電機を設置 外部電源（仮設発電機等）の接続を可能とし、停電の長期化に対応 ・ 通信機能確保のため、防災行政無線設備を整備 ・ 上水用受水槽、雑用水用水槽に 4 日分の給水を確保し、水量を確保 ・ 合併浄化槽用電源を非常用電源とし、停電時にも運用可能とする。
環境配慮	・ 環境負荷低減のため、「ZEB Ready」の認証を受ける。 ・ 高効率機器（LED 照明器具・高効率空調機）の採用 ・ 人感センサー・昼光センサーを設置し、効率的な照明制御を採用 ・ 外気負荷削減のために、空調換気扇や CO2 濃度制御を採用

5 概算工事費

建設工事費	約 45 億円 ・ 庁 舎：約 37.2 億円（本館：約 30.2 億円，別館：約 7 億円） ・ 付属棟：約 3.1 億円 ・ その他：約 4.3 億円
-------	---

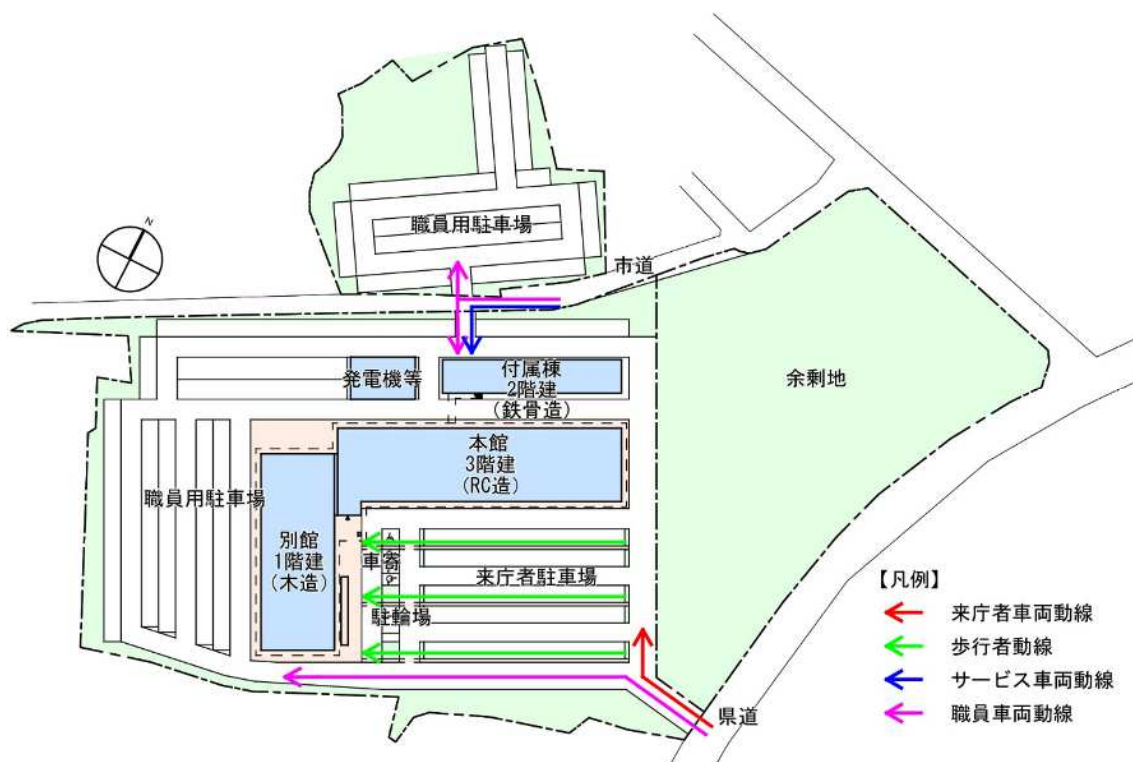
6 スケジュール

2025 年度 （令和 7 年度）	2026 年度 （令和 8 年度）	2027 年度 （令和 9 年度）	2028 年度 （令和 10 年度）
実施設計	確認申請・入札手続等	建築工事	供用開始

7 配置計画

■ 合理的なL字型の配置計画

- ・ L字型の建物配置は来庁者を包み込むように迎え入れ、庁舎としての親しみやすさを創出します。
- ・ 新庁舎により来庁者、職員駐車スペースが明確に区分された、安全で分かりやすい駐車場とします。また、来庁者駐車場には歩道を整備し、歩車分離の安全な駐車場とします。
- ・ 文書庫や物品等を保管する倉庫を整備した付属棟を本館に平行に配置し、本館からアクセスしやすいように配慮します。



8 平面計画

■ 部門配置

- ・ 本館と別館の中央にメインエントランスを設け、来庁者が目的の部署を認識しやすい環境とします。
- ・ L字型の建物配置を採用し、1階の床面積を最大限に確保することで来庁者の利便性を高めます。
- ・ メインエントランスの正面にはエレベーター、階段を設け、2階へもアクセスしやすいように配慮します。
- ・ 乳幼児連れの来庁者等に配慮し、授乳室や多機能型トイレを1階の分かりやすい場所に配置します。
- ・ メインエントランスには、南薩の農畜産物のPRブース、県民ホールを設け、県民同士、または県民と職員の交流を図ります。
- ・ 組織改編等で諸室の規模やレイアウトが変わる場合でも、容易に対応ができるように空調・照明制御の細分化・個別化を行います。
- ・ 利用者の相談内容に応じて柔軟に対応できる様々なタイプの相談スペースを設置します。
- ・ 将来的な県民ニーズの多様化や窓口機能の変化に対応できるように可動式の仕切りとします。

